

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

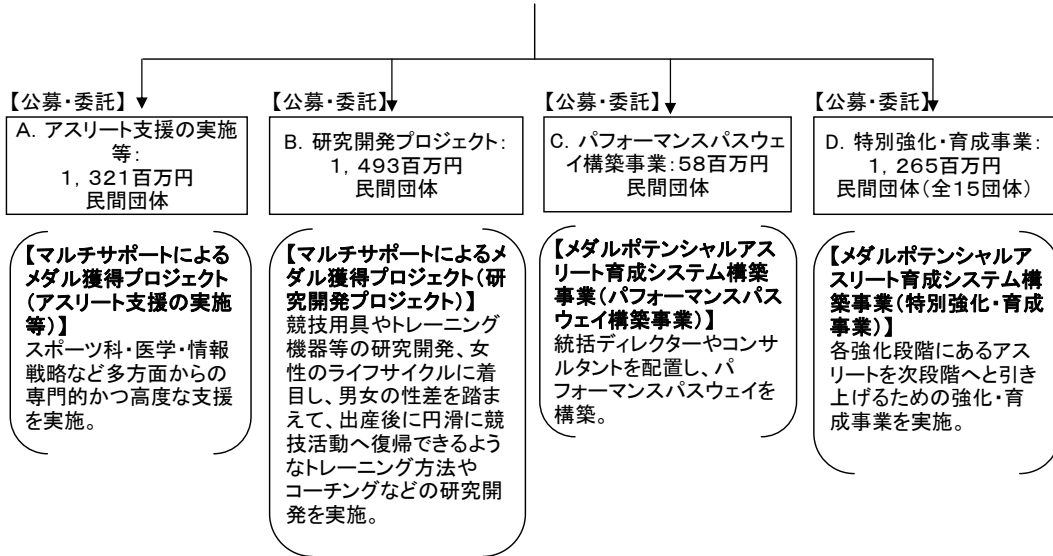
事業名	ナショナル競技力向上プロジェクト		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	競技スポーツ課長 杉浦 久弘		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	競技スポーツ課					
会計区分	一般会計		施策名	XII-3 我が国の国際競技力の向上					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定) スポーツ立国戦略 (平成22年8月26日策定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、競技者への支援や強化・育成システムを充実することで、我が国の国際競技力の向上を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1) マルチサポートによるメダル獲得プロジェクト メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発など、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、女性アスリートの戦略的サポートを実施する。 (2) メダルポテンシャルアスリート 有能なアスリートをメダルポテンシャルアスリート(メダル獲得の潜在力を有するアスリート)まで確実に引き上げるシステム(パフォーマンスパスウェイ)を構築するとともに、各強化段階にあるアスリートを次段階へと引き上げるための特別強化・育成事業を実施する。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算					4,140		
		補正予算							
		繰越し等							
	計						4,140		
	執行額								
執行率 (%)									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)	
	オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル獲得数			成果実績	メダル獲得数				夏季:38
				達成度	個				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	(1) マルチサポートによるメダル獲得プロジェクト ロンドンオリンピック、ソチオリンピックでメダル獲得が期待されるターゲット競技数			活動実績	競技数	—	—	—	※24年度の活動見込である
					(当初見込み)	—	—	(—)	(17)
	(2) メダルポテンシャルアスリート育成システム構築事業 特別強化・育成事業実施競技数			活動実績	競技数	—	—	—	※24年度の活動見込である
(当初見込み)					—	—	(—)	(15)	
単位当たりコスト	(1) マルチサポートによるメダル獲得プロジェクト 1競技当たりのコスト(165,717,235円/1競技) (2) メダルポテンシャルアスリート育成システム構築事業 1競技当たりのコスト(88,197,000円/1競技)			算出根拠	単位当たりコスト=平成24年度マルチサポートによるメダル獲得プロジェクト要求額(2,817,193,000円)/ターゲット競技数(17競技)				
					単位当たりコスト=平成24年度メダルポテンシャルアスリート育成システム構築事業要求額(1,322,955円)/15競技				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	諸謝金、委員等旅費		1百万円						
	職員旅費		3百万円						
	スポーツ振興事業委託費		4,136百万円						
	計		4,140百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、スポーツ立国戦略(平成22年8月26日文部科学省策定)に掲げる目標の一つである、「夏季・冬季オリンピック競技大会において、それぞれ過去最多(夏季37(アテネ)、冬季10(長野))を超えるメダル数の獲得の実現を目指す」ための事業であり、広く国民の期待に応える事業である。</p> <p>また、スポーツ基本法(平成23年法律第78号)においては、「我が国のスポーツ選手が国際競技大会又は全国的な規模のスポーツの競技会において優秀な成績を収めることができるよう、スポーツに関する競技水準の向上に資する諸施策相互の有機的な連携を図りつつ、効果的に推進されなければならない」と定められており、選手への直接的支援や強化・育成システムの充実を図ることで、オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル獲得数を目指す本事業は、国の責務として実施すべき事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
4,140百万円

職員旅費 3百万円
その他 0.2百万円 } を含む

トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、メダル獲得の潜在力を有するアスリートを育成するシステムを構築することで、我が国の国際競技力の向上を図る。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

A.アスリート支援の実施等			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	サポートスタッフ、事務スタッフ、研究スタッフ	382			
旅費	サポートスタッフ、ロンドンオリンピックトレーニングパートナー、帯同スタッフ	326			
雑役務費	マルチサポート・ハウス設置業務、女性アスリートサポート調査・分析業務	187			
借料及び損料	マルチサポート・ハウス借料、複合機、AV機器、サポート活動レンタカー	133			
一般管理費		120			
備品費	トレーニング用機器、サポート機器、マルチサポート・ハウス用仮設プール・製氷機・簡易テント等	115			
消耗品費	消耗品	22			
諸謝金	帯同スタッフ、映像編集・加工作業、現地ボランティアスタッフ、調理スタッフ	19			
通信運搬費	サポート活動用携帯電話通話料、インターネット通信料、機材・食材輸送	15			
印刷製本費	マルチサポート・ハウス運営マニュアル・リーフレット・IDカード	2			
計		1,321	計		0
B.研究開発プロジェクト			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	研究スタッフ、事務スタッフ	425			
備品費	研究開発用機器	420			
雑役務費	競技用具制作・加工・テスト経費、諸外国データ収集費	262			
旅費	研究スタッフ、被験者	181			
一般管理費		136			
消耗品費	消耗品	27			
借料及び損料	スタッフ用PC、複合機	26			
諸謝金	被験者	16			
計		1,493	計		0
C.パフォーマンスパスウェイ構築事業			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	パフォーマンスパスウェイ統括ディレクター、パフォーマンスコンサルタント	50			
保険料	パフォーマンスパスウェイ統括ディレクター、パフォーマンスコンサルタント	5			
旅費	特別強化・育成事業調査	2			
その他	消耗品、報告書印刷、会議費等	1			
計		58	計		0
D.特別強化・育成事業			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	ポテンシャルアスリート合宿・遠征	1,127			
賃金	ポテンシャルアスリート発掘・育成スタッフ	117			
保険料	ポテンシャルアスリート発掘・育成スタッフ	13			
その他	消耗品、報告書印刷	8			
計		1,265	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)